

敬語の使い方

名前

一 次の説明にあてはまる敬語の種類を、あとのアからウまでの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

- 1 自分がすることをけんそんして言うこと
とよつて、相手への敬意を表す言葉 ()
- 2 相手やほかの人を高めることによつて、
相手への敬意を表す言葉 ()
- 3 ことがらをていねいに言うことによつて、
相手への敬意を表す言葉 ()

ア ていねい語 イ けんじよう語 ウ そんけい語

二 次の——部の言葉で、敬語の使い方としてふさわしくないものを一つ選んで () に、○をつけましよう。

- 1 () 校長先生が、わたしたちの教室に来られた。
- () 校長先生が、子どもたちに申し上げる。
- () 校長先生が、本をお読みになる。
- () 校長先生が、給食をめしあがる。
- 2 () わたしが、校長室にうかがう。
- () わたしが、校長先生にお話しする。
- () わたしが、本を読まれる。
- () わたしが、給食をいただく。

三 次の——部の言葉を、() の種類の敬語で書き直しましよう。

1 わたしは、社会科の授業で農家の方から話を聞く。
(そんけい語)

2 昨日、わたしは、親せきのお姉さんからおみやげをもらった。
(けんじよう語)

3 先生が、帰りの会で、明日の連らくを言った。
(そんけい語)

4 これは、わたしが大切にしている本だ。
(ていねい語)

5 わたしは、学校の歴史について、校長先生にたずねる。
(けんじよう語)

6 一年生の教室に花をかざる。
(ていねい語)

Blank box for answer to question 6.

敬語の使い方

名前

答えと説明

☆敬語

● **そんけい語** …相手やほかの人を高めることによ

って、相手への敬意を表す言葉

例 「いらっしやる」「めしあがる」「おっしやる」

「お(ご)くくなる」「くれる(られる)」

「お(ご)くく」「お車、ご卒業など」

● **けんじょう語**…自分がすることをけんぞんして言

うことによって、相手への敬意を

表す言葉

例 「うかがう」「いただく」「お(ご)くくする」

● **ていねい語** …ことがらをていねいに言うことに

よって、相手への敬意を表す言葉

例 「です」「ます」「ございます」

一 次の説明にあてはまる敬語の種類を、あとのアからウまでの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

1 自分がすることをけんぞんして言うこ

とによって、相手への敬意を表す言葉 (イ)

2 相手やほかの人を高めることによって、

相手への敬意を表す言葉 (ウ)

3 ことがらをていねいに言うことによって、

相手への敬意を表す言葉 (ア)

ア ていねい語 イ けんじょう語 ウ そんけい語

二 次の——部の言葉で、敬語の使い方としてふさわしくないものを一つ選んで () に、○をつけましよう。

1 () 校長先生が、わたしたちの教室に**来られた**。

(○) 校長先生が、子どもたちに**申し上げる**。

() 校長先生が、本をお読みになる。

() 校長先生が、給食を**めしあがる**。

2

() わたしが、校長室に**うかがう**。

() わたしが、校長先生にお話**する**。

(○) わたしが、本を**読まれる**。

() わたしが、給食を**いただく**。

三 次の——部の言葉を、() の種類の敬語で書き直しましよう。

(そんけい語)

1 わたしは、社会科の授業で農家の方から話を聞**く**。

うかがう

(けんじょう語)

2 昨日、わたしは、親せきのお姉さんからおみやげを**もらった**。

いただいた

(そんけい語)

3 先生が、帰りの会で、明日の連らくを言**った**。

言われた
おっしゃった

(ていねい語)

4 これは、わたしが大切にしている本**だ**。

です

(けんじょう語)

5 わたしは、学校の歴史について、校長先生に**たずねる**。

おたずねする

(ていねい語)

6 一年生の教室に**花**をかざる。

お花